

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成 29 年度第 1 回）議事録

日 時：平成 29 年 4 月 28 日（金）10：00～12：00

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第 1 会議室

出席者：中釜斉理事長、門田守人理事、松本洋一郎理事、児玉安司理事、間野博行理事、
南砂理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：なし

I. 前回（平成 28 年度第 12 回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を南理事と増田監事に依頼。

II. 審議事項

- ・なし

III. 報告事項

1. 経営改善：予算執行管理等

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・中長期目標・計画について、より本質的なことを盛り込み、国にも主張すべき。
- ・NCの在り方について、環境変化への対応を含め、改めて国レベルで議論する必要がある。
- ・将来像や計画の作成に当たり、具体的なアウトカムを明示すべき。
- ・投資委員会において、医療機器の更新等を議論する場合は、過去の稼動実績を検証すべき。

2. 平成 28 年度内部監査実施報告

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・診療報酬については、多額の返還を求められるリスクがあるので、これを踏まえた対応が必要。

3. 高齢者へのがん医療の効果にかかる研究報告

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・高齢者については、生存期間だけでなく、QOLを踏まえた健康余命といった側面を踏まえるべき。
- ・資料において、統計上の有意差の有無等を明記する方がよい。

4. 国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点開所

資料に沿って報告された。

5. 東病院次世代外科・内視鏡治療開発センター竣工記念式典

資料に沿って報告された。

6. がん登録オンラインシステム

資料に沿って報告された。

7. 即時適応型放射線治療システム稼働

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・以前の理事会では、臨床試験で効果を確認してからの導入について発言したが、その後、内部で討論が重ねられたようであり、特に問題がないと考えられる。
- ・自由診療について、診療報酬より高い点数で長期間行うという考え方もあり得るのではないか。
- ・本件のように実施の必要性が高いケースでも、組織としての判断、導入手順、記録といった点をよく意識して進めることが必要。
- ・投資対効果は必ず検証すべき。

8. 綱紀肅正

資料に沿って報告された。

9. がん対策推進協議会等

資料に沿って報告された。

主な意見等（がんゲノム医療）

- ・新たな拠点病院という考え方が示されているが、これまでも同様の進め方で問題が多いので、実態を踏まえるべき。
- ・データ管理について、上手く活用されるように省庁間の縦割りにとらわれないシステムにすることが重要。

10. 広報実績

資料に沿って報告された。

11. 3月分医業件数等

資料に沿って報告された。